

取組事例
施策 1

県土強靱化のための 道路ネットワークの強化



取組事例①

呉市における防災・減災に資する道路整備

第一次緊急輸送道路の機能強化を図り、
発災時にも迅速・適切な初動体制を
確保します。

広島市と呉市、江田島市を連絡する緊急輸送道路の機能強化や、最寄りの災害拠点病院への救急搬送ルートの機能強化を図ります。

呉市中心部と周辺市町等をつなぐ
多重型道路ネットワークの機能を強化し、
発災時における影響を最小限に抑えます。



災害等により幹線道路が通行止めとなった際にも代替ルートが確保されるよう（主）呉平谷線等の道路整備を推進します。



広島呉道路4車線化

坂北IC～呉IC間(12.2km)を山側へ拡幅し、
2車線から4車線に整備する事業。

4車線化により期待される効果

災害時には片側交互通行や対面通行を行うことにより、通行止め時間の短縮が可能となり、発災時における早期の交通確保が可能となる。また、交通容量の拡大による時間短縮や定時性の向上などにより、観光振興や地域経済、地域社会を支える幹線道路としての機能向上が期待される。



取組事例①の主な事業箇所概要

路線名	概要
広島呉道路(坂北～呉)	4車線化(L=約12.2km)
(主)呉平谷線(呉市上二河～此原)	L=約2.4km, W=6.0(7.0)m(暫定2車線)

W=車道幅員(歩道等を含む全幅員)

